

施策情報のグループ共有化

①情報連携の取組み(EDI化の推進、UI/UXの取組み、IT推進の取組み)について

	西濃運輸	遠州西濃	伊豆西濃	丸久運輸
現状 (状況及び、課題)	<p>【EDI化の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EDI化100%に向けて、実績96.1% (不足枚数396千枚/月)8月末</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・EDIへの取組みが、プランナー対応のみになっているため、渉外時間が不足している</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規荷主へのKMII導入率は90%以上 (必須で案内)</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存大口荷主への導入が遅れている →客先システム導入荷主様へのEDI化説明が十分にできていない</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・KMII導入を推進していくにあたり導入が少ない営業所から力を入れていく</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷主様への丁寧な説明と理解</li> <li>・強化人員1名増</li> </ul>	<p>【IT推進の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内で行っている紙媒体の業務のシステム化を推進 ➢OBC人事奉行ソフトの導入による社員管理精度向上 ➢2024年問題対応：運行時間解析ソフトの導入</li> </ul>
新たな取組み (課題解決策)	<p>【短期の取組み】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①KMIIが導入できる事務職(プランナー以外)の育成</li> <li>②トークスクリプトを作成し、インサイドセールス展開</li> </ol> <p>【長期の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマカルバージョンアップ ⇒小口層の取り込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セイノー情報との帯同営業で大口荷主へのEDI化を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小口荷主からKMIIの積極的なコミュニケーション強化を行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2024年3月までに、2024年問題に対応できるように、長距離貸切配車の専用運行計画を開発導入する</li> </ul>
効果・実績について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4⇒8月 EDI化率 0.5%UP (約50,000枚導入)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドライバー・発送事務員の作業軽減で残業時間短縮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EDI化率80.87%中KMIIは36.8%と低い</li> <li>・EDI化率アップすることによりお客様へのサービス向上につなげる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拘束時間のコンプライアンスが遵守できる体制を構築するとともに、配車担当者の配車計画策定にかかる時間を短縮する</li> </ul>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プランナーのみのEDI化交渉から事務所または大手については、SIS帯同渉外を行いお客様の作業動線を変えることなく、利便性向上を求める</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様への利便性向上と共に、弊社の労働環境改善策として、DXは社内全体の最優先事項として取り組んでいく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様とのコミュニケーション強化がポイント サービス向上と価値観の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離貸切の配車は、従来担当者が道路状況・納品先待ち時間などの経験を元にした配車を行っているが、それをシステム対応型へと進化することで、属人化した業務から、誰でも出来る業務へと向上させるツールとなる</li> </ul>